



様々な受験パターンの例

意識しましょう…自分の受験

(1) 公立高校 + 私立高校

【例】市立札幌平岸高等学校 + A 北海学園札幌高等学校 + B 北星学園大学附属高等学校

* 公立高校と併願の場合…上記のように私立 AB 日程両方受験のほか、A日程のみ、B日程のみのケースがあります。

(2) 私立高校のみ…全日制を単願／専願 または 通信制のみ → 出願日程が早いケース

【例】札幌静修高等学校 のみ / 飛鳥未来さずな高等学校 のみ

* 私立の志望順位が「1」の場合は、単願受験の方がメリットがある場合があります。

(3) 公立高校のみ(一般受験)

【例】北海道札幌南陵高等学校

* 数年続けて定員割れとなっている高校は確かにありますが、今年度の出願状況が発表されるまでは、倍率はわかりません。

(4) 公立高校 + 私立高校 + 国立高専

【例】北海道札幌東高等学校 + 札幌光星高等学校 + 苫小牧工業高等専門学校

* 高専の試験日は例年私立 AB 日程の直前です。

(5) その他想定されるパターン

・私立専願で受験し、公立受検を欠席

・私立専願で合格し、公立受検を欠席

→先に専願した私立の合格が決まった時点で、公立受験の結果に関係なく、合格した私立への進学が決まるので…

※できれば、このケースにならないことが望ましい

・公立、私立ともに一般合格し、公立(または私立)を入学辞退

→進学する高校が決まったら、もう一つの合格校に入学を辞退する旨を連絡しなければなりません。

・公立自己推薦で合格内定ならず。公立へ再出願して一般受検する→再出願手続き

・公立自己推薦で合格内定し、私立高校の受験を欠席→受験欠席届

・【注意】「道外受験」は日程・手続き等が大きく異なります。